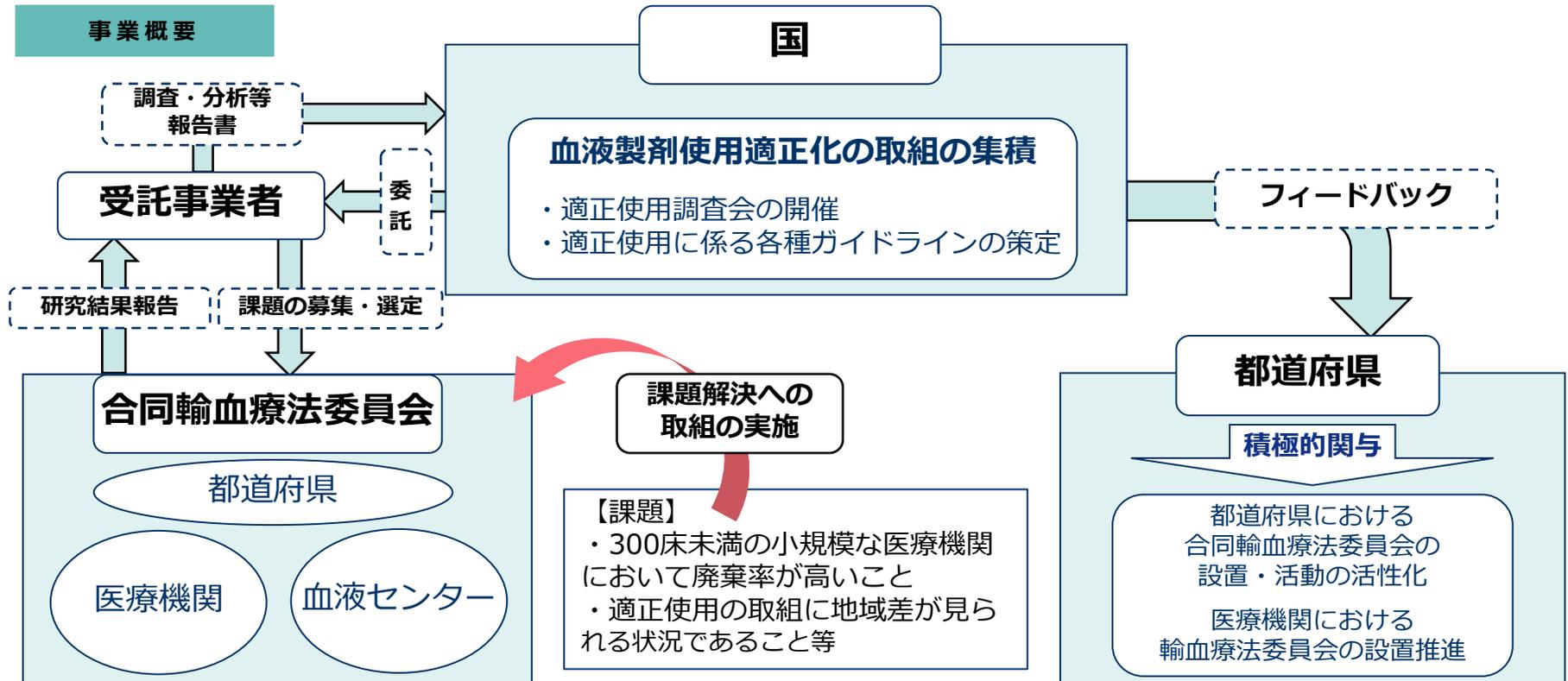


目的

- 本事業は、血液製剤の適正使用を推進する観点から、各都道府県における課題とそれに対する取組について調査研究することを目的としている。
- 厚生労働省は、血液製剤の適正使用を推進するために、各都道府県に医療機関や採血事業者等の関係者が参加して、血液製剤の適正使用を推進する上での課題の認識や手法の検討、実施等の取組を行う合同輸血療法委員会の設置を推進しているが、先進的な取組を行う合同輸血療法委員会が主体となって当事業を実施し、全国でその取組を共有することで、効果的な血液製剤の適正使用の方策を推進するものである。

事業概要



都道府県名	研究課題名
秋田県	ダブルチェック手順の統一化に向けた「独立したダブルチェック (Independent double check)」の有効性評価および「抗菌薬適正使用支援 (antimicrobial stewardship)」を活用した輸血版Big Gun Project
新潟県	山間へき地や豪雪地域における血液製剤の供給体制実態調査～廃棄血削減の取組～
岐阜県	中小規模病院における血液製剤の使用実態の把握と解析を活用した適正化方策事業の展開
兵庫県	呼吸数測定可能なパルスオキシメーターを加えた遠隔バイタル連携システムを用いた在宅輸血患者の安全な見守りの有効性の検証
広島県	災害時等輸血用血液製剤供給体制の実効性の向上
福岡県	輸血搬送装置(ATR)を用いた輸血基幹病院とクリニック間の連携による在宅輸血医療の均てん化を図る
佐賀県	佐賀県における在宅および小規模医療機関における輸血事情調査と「モザイクICT連携」による輸血実施体制支援
鹿児島県	離島の中核病院における悪天候時等の血液製剤利用に対して、複数の医療機関がブラッドローションにて支援を行う運用の研究